



ユ一キヤン通信

編集・発行
知能工作研究所
大和市内南林間 2-18-25
TEL 046-277-5654

学ぶ力（知能）

立命館大学体育会スキー部
監督 藤井 勉

慶應義塾を創設した福沢諭吉翁は、「かしこき人」と「おろかな人」との違いは、「学ぶと学ばざること」によって生まれる。と「学問のすすめ」の中で述べています。確かに、昔の人格のある方は学んで「かしこき人」でした。しかし、最近では高学歴、有名大学の先生や高級官僚にもかかわらず、およそ「かしこき人」のする事とは思えないような事件を起こす人が多くなりました。高学歴が必ずしも学んで「かしこき人」になることに結びつかないこととなります。なぜ、大学などで十分学んだはずなのに「かしこき人」にならないのでしょうか。それは、いつの頃からか「学ぶ」ことを、有名校に入るための受験勉強だけが「学ぶ」ことだ、と考え違いを起

してしまっただけです。「学ぶ」ということは、決して受験勉強だけではありません。特に幼児の頃から高い点数を取るだけの受験“病”で育った人は、なかなか「かしこき人」にはなれません。近頃では、教育制度も少しずつ変化が見られます。帰国子女枠、短大からの編入、社会人入学など、大学の方で手を広げて待っていてくれる時代になっています。大学に入るくらい何とでもなる、というぐらいに気楽に考え、本当の「学ぶ」ことを始めた方がいいようです。私の知り合いに、二人の男の子のいる家庭があります。兄は、幼いころから受験勉強をして有名大学に合格、卒業後は大企業に就職して順風満帆のようでした。しかし、何年か経つと、転勤も多く休みも思うようにとれない生活に不満の毎日。一方弟の方は、自分で選んだ工業高校を出ると、大学だけは行って欲しいという両親の願いも聞かず、自分の好きな機械製作会社に入社。初めは、親は弟の生き方に批判的でした。しかし、近頃では、弟は休みになると家族を連れて親元を訪れ、楽しく生活をおくっている様子を見ると、人間にとって何が幸せか考えさせられるそうです。四十才過ぎた今でも弟の方が収入が上で、四年間の大学にかかった費用などを比べると、二人の生涯獲得賃金の差はもっと広がるでしょう。まして生活の幸福感、人生の達成感の差は数段違ってくるでしょう。実はここに「学ぶ」ことの大切さが隠れて

出でよ！
真にかしこき人



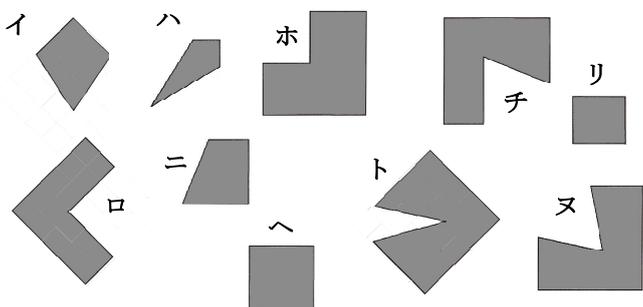
福沢諭吉（1834～1901）
慶應義塾大学創設・専修大学創設にも尽力。著作「学問のすすめ」「文明論概略」等

（画像）（平）（子）（小）（大）（学）（生）（の）（学）（問）（の）（す）（す）（め）

大人の知能トレーニング

出題 和田 秀巳

今回は「図形の関係を集中思考する（NVR）」
「問題」2つの形で真四角を完成させましょう。この知能は大人も幼児もそれほど差がありません。



ているのです。二人の違いは、自分自身の進みたい方向を定め「さあ、やるぞ！」となった時、意欲を持って目標に向かって粘り強く取り組んでいける力、自分から主体的に自分の能力をフルに稼働させ、ものごとに取り組む「学ぶ力」（知能）の違いなのです。特に幼児期は、受験勉強を無理やりさせるのではなく、基礎となる「学ぶ力」を育てることの方が大切なのです。スキー合宿などで生活をしている最近の大学生を見ていると、つくづくこの「学ぶ力」の差が、その後の人生を変えることに気づかされる毎日です。

真に学んだ真に賢き人が多くなって、日本人が世界中で活躍することを願っています。